

【ユーザーレポート：みつおかクリニック様】

〒713-8122 岡山県倉敷市玉島中央町2丁目5-3-1

オゾン水内視鏡消毒機OED-1000S



※みつおかクリニック様ホームページはこちら

みつおかクリニック様は地域の皆様に信頼されるクリニックを目指し、2017年8月3日に岡山県倉敷市玉島地区に開院。以来年間1500件以上の上部・下部内視鏡検査を実施。機能性消化管疾患の診断・治療成績は中国地方トップクラス。開院時にご採用いただいたOED-1000Sの導入の経緯や、ご使用感、メーカーへのご要望を伺いました。



みつおかクリニック

院長 光岡直志氏

日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医。自院で行うすべての内視鏡診断、治療を実施している。

—導入までの経緯やご使用の感想を教えてください—

開院時に販売店よりOED-1000S（以下OED）の提案を受けました。ランニングコストは重視しましたが、同時に安全性を熟考してOED-1000Sを採用しました。実際4年間使用し、これまで問題が起こったことはありません。

—スタッフの方のご使用感はいかがでしたか？—

スタッフに話を聞きました。現在、消化器内視鏡技師が2名おります。他社の横巻の消毒機の使用経験があり、当初はOEDの縦巻きに戸惑ったそうです。しかし使用するうちにすぐ慣れて、慣れば全く問題ないとのことでした。

機械のサイズは小さい方が良く考えます。奥行きを小さくするための縦巻きということで納得しました。

—その他OEDで良いポイントはありませんでしょうか？—

オゾン水が排水時に水に戻ることです。SDGs達成の機運が高まる中、廃液は環境負荷が少ない方が良く考えます。

オゾン水内視鏡消毒機OED-1000S
(2017年設置。)

シンクを2層（清潔・不潔）に分けている。シンクでの前洗浄後、OEDでの消毒を実施している。



—メーカーへのご要望をお願いします。—

国内での「オゾン水による内視鏡消毒」の地位をより向上させていただきたいです。そのために国内だけでなく海外でも認められるようなエビデンスを取るなど、メーカーにしっかり取り組んでいただきたいと思います。オゾン水は海外でも認められるものであると信じています。またSDGsや脱炭素の機運が高まる中、世の中の後押しを受けられるはずです。

お問い合わせ先：株式会社IHI物流産業システム

